

インプレースファイル分析と管理

トップ5銀行

背景

米国に本社を置くこの大手銀行は、何百万人もの個人消費者、小規模銀行、著名な多国籍企業、政府機関を顧客として世界的に事業を展開しています。業務を通じて、銀行はファイル共有内に数ペタバイトのデータと数十億の文書を生成してきました。

これほど大量のデータを扱うと、ストレージコストとリスクに関する課題が生じます。今日の規制環境では、知らないことが損害となり、組織は法律とプライバシーのコンプライアンスのためにすべてのデータを完全に管理する必要があります。規制当局がファイルなどの非構造化データを監視する頻度が高まるにつれて、管理されていないドキュメントを保持することに伴うリスクが増大します。

試みられた解決策と課題

当初、銀行はファイル共有にどのようなデータが存在するかを把握し、ROT（冗長、古くなった、取るに足らない）データを削除することで、このデータの拡散に対処するためのいくつかの試みを開始しました。法務、コンプライアンス、記録、プライバシーの関係者を集めました。1年経っても削除できたのは100万件の文書だけでした。現在の文書量は数十億件に上り、このプロセスでは拡張できないことがわかりました。銀行は、ファイルのクリーンアップの課題に対する解決策を外部に求め始めましたが、その課題はすべて、次の3つの主要な問題に集約されました。

1. 制御なし

銀行がファイルにガバナンスを適用できなかったため、銀行はどのような情報が保存されているかを把握できず、プライバシー、コンプライアンス、ファイルのクリーンアップのためにその知識に基づいて行動することができませんでした。

2. 世界的な監視なし

各拠点で異なる保管ポリシーが使用されていたため、銀行は普遍的な記録管理戦略を実装することができませんでした。ファイル管理に対するこの地域的なアプローチには、真実の唯一の情報源、文書を追跡する手段、および削除の対象となるファイルを決定するための防御可能な方法が欠けていました。

3. ROT ファイルが多すぎる

継続的なガバナンスが欠如していたため、銀行のファイル共有はテラバイト単位の冗長で古い、取るに足らないデータ（ROT）で膨れ上がっていました。これらのファイルは過剰な間接費を生み出し、数え切れないほどのプライバシーとセキュリティの課題を引き起こしました。

より良い解決策

ZL ファイル分析および管理は、世界中の同社のファイル共有と SharePoint サイトに導入され、銀行にいくつかの重要な機能を提供しました。



A Single Source of Truth

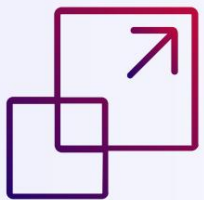
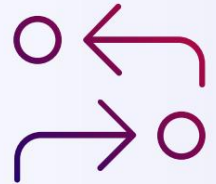
真実の唯一の情報源

ZL ファイル分析および管理により、データのコピーを作成せずに、銀行のすべてのファイルを 1 つのプラットフォームで統合仮想管理できるようになり、銀行はファイルに関するグローバルおよび地域のポリシーを制定できるようになりました。その結果、銀行は信頼できる唯一の情報源を手に入れ、ファイル管理プロセスが大幅に簡素化されました。

Audit Trails and Defensible Deletion

監査証跡と防御可能な削除

今日、すべての企業は、さまざまなビジネス、規制、および法的義務を満たすために、防御可能な削除を優先する必要があります。そのためには、記録保持、プライバシー、法的電子情報開示、コンプライアンスの要件を組み込んだ統一されたポリシーセットを開発するとともに、削除されたデータとその理由を記録する詳細な監査証跡を保持する必要があります。その結果、規制当局や法的関係者にデータが正当な目的で削除されたことを証明できる、防御可能な監査証跡が得られます。



Massive Scalability

大規模なスケーラビリティ

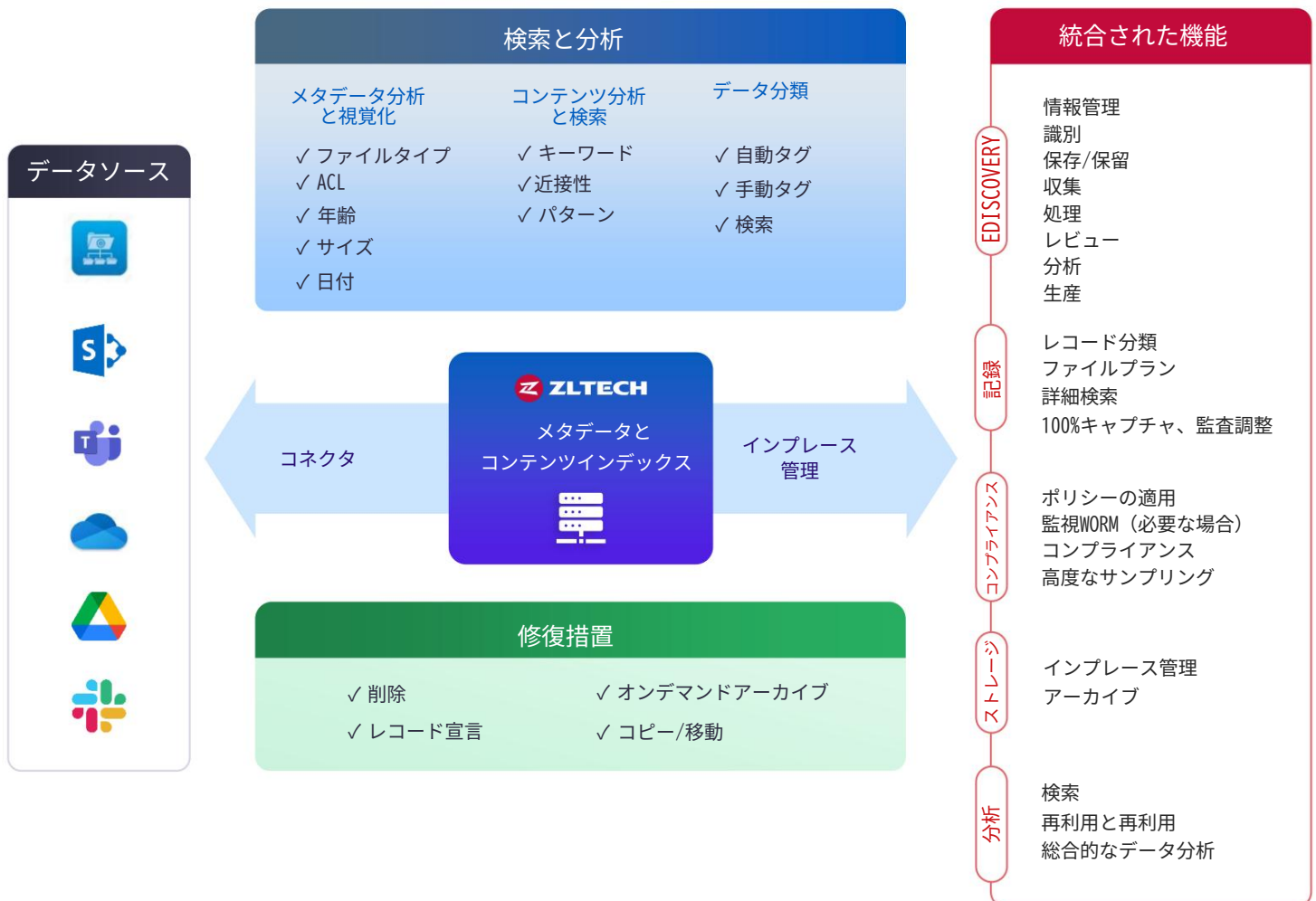
グローバルなデータ要件を満たすように設計された ZL Tech の統合アーキテクチャは、今日の膨大なデータ量と複雑な規制環境に対応します。ZL Tech は、この大手銀行に、それぞれ独自のプライバシー要件を持つさまざまな国にあるデータのための統合管理ソリューションを提供しました。その結果、地域の関係者が所有するデータを確認および処分できる統合されたワークフローが実現し、グローバル管理者向けに世界中のすべてのデータに対するグローバルな監視機能も提供されます。

インプレースファイルガバナンス

従来の情報ガバナンスは、すべての文書がコピーされ保存されるアーカイブに依存しています。残念ながら、これによりストレージコスト、データの露出、管理上の問題が増加します。

対照的に、インプレース管理は、アーカイブ（またはそれに関連するデータのコピー、リスク、コスト）なしで、情報ガバナンスの利点を実現します。このアプローチでは、ドキュメント自体を複製することなく、すべてのドキュメントのエッセンスが抽出され、検索と分析が行われます。

この集中型プラットフォームから、ユーザーはデータソースに対して、ドキュメントの分類、保持、レビュー、防御可能な削除などのレコード管理機能を実行できます。手動および自動のファイルタグ付けにより、銀行はドキュメントを分類し、規制要件に準拠したカスタムポリシーを適用できます。さらに、銀行は価値の高いファイルをレコードとして宣し、個人を特定できる情報 (PII) を修正し、ROT ファイルに削除のフラグを付けることができるようになりました。



**10B+**

管理されている文書

**1.6+ PBs**

ROT は正当に削除されました

**Zero**

作成されたコピー

結果

2023年、銀行は最も重要な1,400のデータソースに焦点を当ててクリーンアップの取り組みを拡大しました。3月に1,100万個のファイル、翌月に1,000万個のファイルを削除したと報告されています。

インプレース管理の拡張性により、銀行のROT クリーンアップの取り組みは目に見える形で前進し、1年間に削除される文書数が100万件から毎月その10倍にまで減少しました。ストレージ容量の削減によるコスト削減だけでも莫大な額ですが、法務、規制、ビジネス上のその他のメリットも変革をもたらすことが証明されました。

今後、銀行には、ZLプラットフォームを使用して非構造化データの消費と使用を変革するためのいくつかのオプションがあります。インプレース管理は、コンプライアンス、プライバシー、記録、法的ニーズなど、必要な情報の選択的なアーカイブと組み合わせることができます。さらに、大規模なファイルのクリーンアップを可能にする同じテクノロジーを使用して、関連データを検索、フィルタリングし、AIおよび分析プラットフォームに配信できます。この機能により、銀行はガバナンスイニシアチブを、デジタルトランスフォーメーション、クラウド、AIなどのより大規模なデータ戦略と連携させることができます。



トップ5銀行 インプレースファイル分析と管理

+1 (408) 240-8989 | zlti.com | info@zlti.com